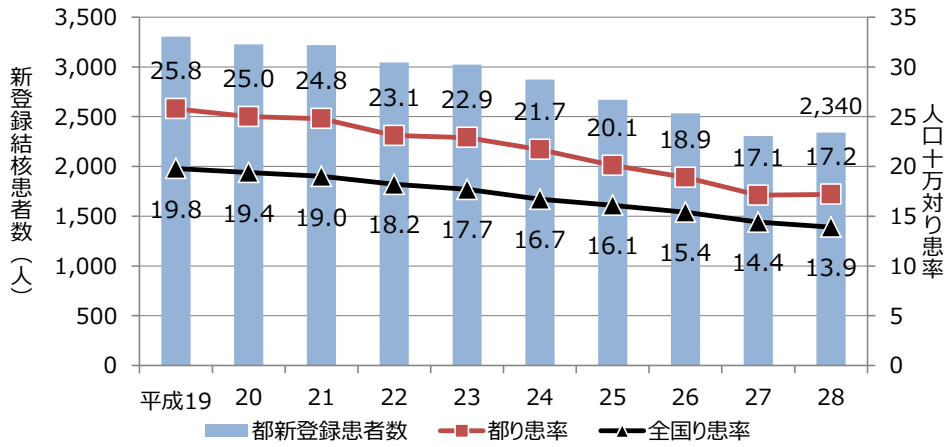


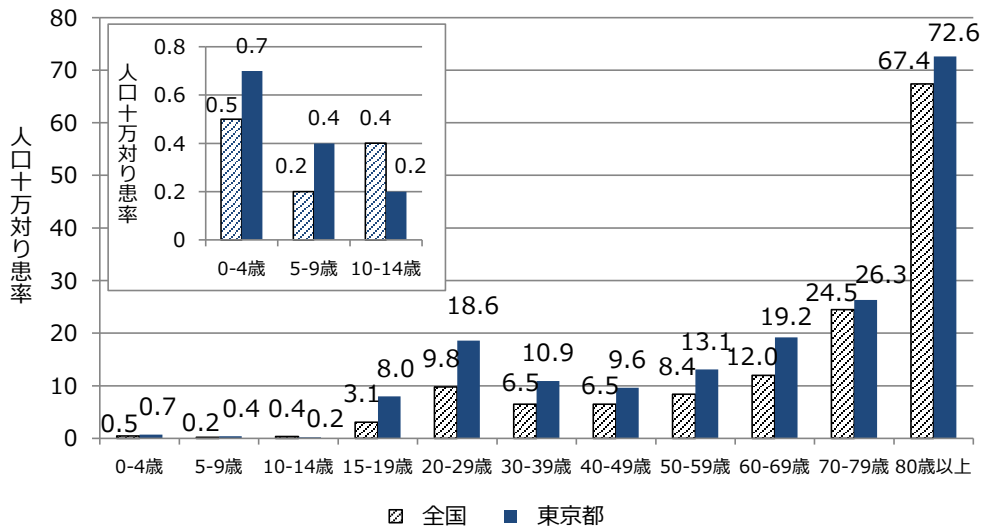
# 1 都の結核の状況

図1-1 都の新登録結核患者数及びり患率の推移（平成19～28年：全国・東京都）



都の新登録結核患者数及び結核患者人口10万対り患率は、全国より高いものの減少傾向にあり、平成28年の新登録結核患者数は2,340人、り患率は17.2となっています。

図1-2 都における年齢階級別結核り患率（平成28年）

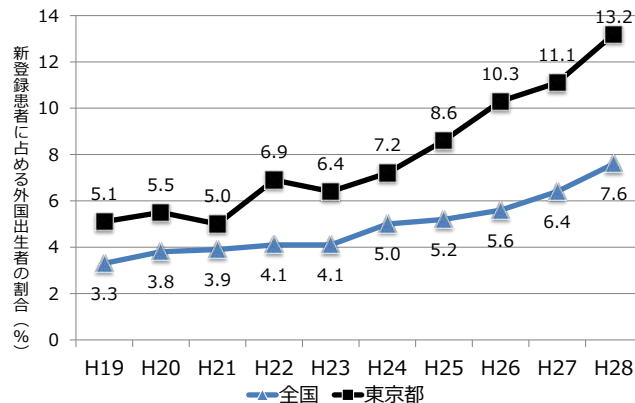


平成28年においては、10～14歳を除くすべての年齢階級で全国よりも高くなっています。

## 2 都における結核対策の課題

### (1) 外国出生結核患者の割合

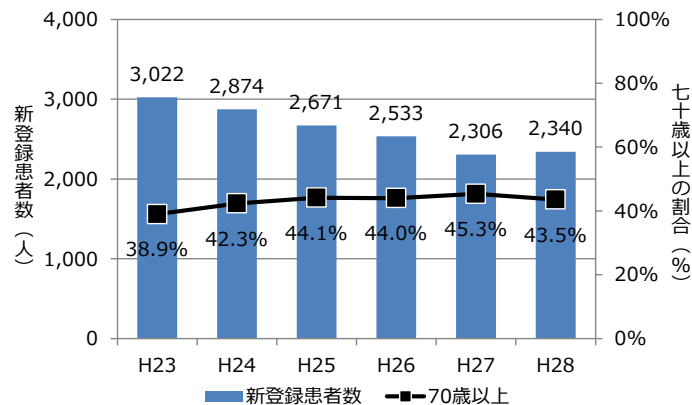
図 2-1 新登録患者に占める外国出生者の割合の推移（平成 19～28 年）



新登録患者に占める外国出生の割合は増加傾向にあり、平成 28 年は国の約 1.7 倍となっています。

### (2) 高齢者の新登録患者の割合

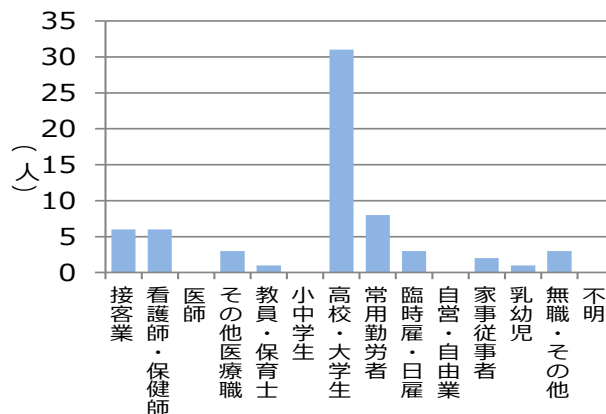
図 2-2 都における新登録結核患者数及び 70 歳以上の患者が占める割合の推移（平成 23～28 年）



新登録患者数は減少傾向にありますますが、70 歳以上の高齢者が 4 割以上を占めています。

### (3) 潜在性結核感染症における治療中断者の職業

図 2-3 潜在性結核感染症治療中断者の職業（平成 26 年）



潜在性結核感染症の者の治療中断は、高校・大学生が多くなっています。

(出典) 図 1-1～図 2-2：東京都における結核の概況（平成 28 年）から作成

図 2-3：DOTS 実施状況調査（平成 26 年登録者）